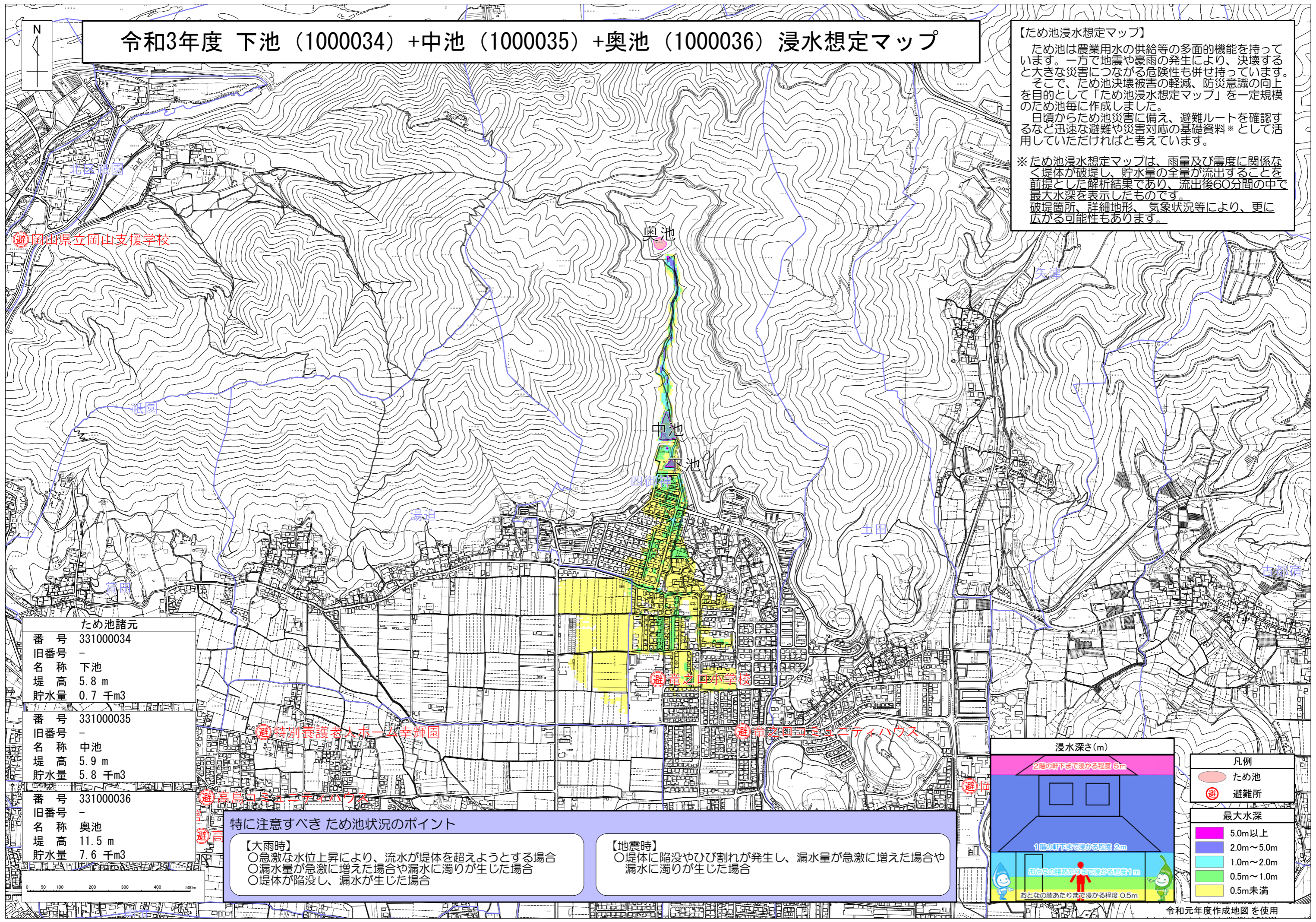


令和3年度 下池 (1000034) +中池 (1000035) +奥池 (1000036) 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。
 日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料*として活用していただければと考えています。
 *ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。
 破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。

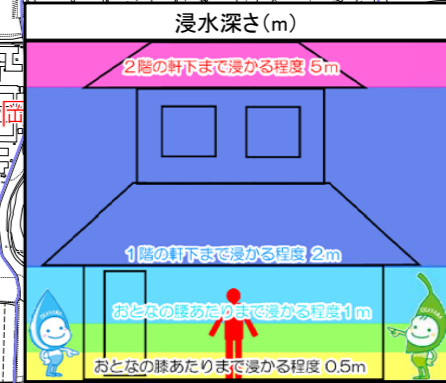


ため池諸元	
番号	331000034
旧番号	-
名称	下池
堤高	5.8 m
貯水量	0.7 千m ³
番号	331000035
旧番号	-
名称	中池
堤高	5.9 m
貯水量	5.8 千m ³
番号	331000036
旧番号	-
名称	奥池
堤高	11.5 m
貯水量	7.6 千m ³

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合



凡例	
	ため池
	避難所
最大水深	
	5.0m以上
	2.0m～5.0m
	1.0m～2.0m
	0.5m～1.0m
	0.5m未満

